

週間漁海況情報—第18号

平成26年5月7日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/>で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

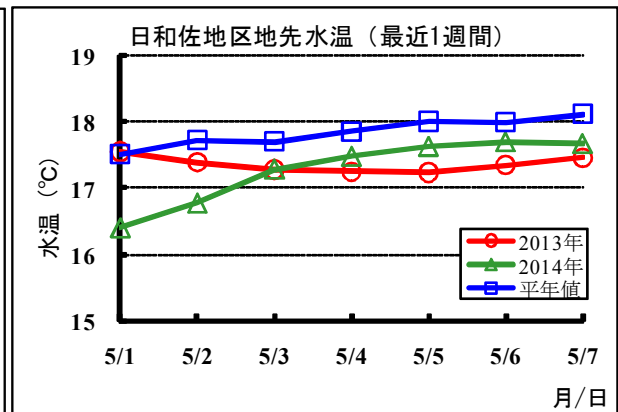
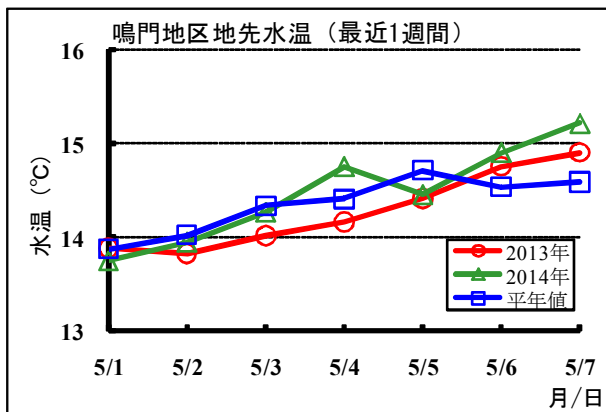
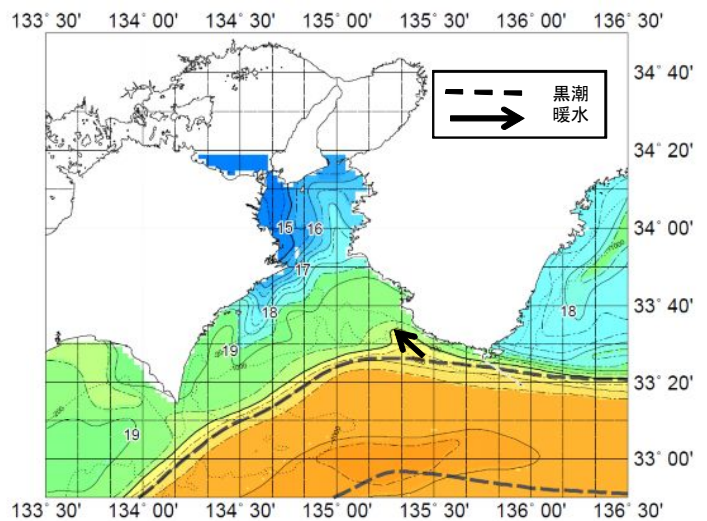
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H26.5.7）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、概ね21℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で14～15℃台、紀伊水道では14～17℃台、海部沿岸は15～18℃台であり、紀伊水道外域では和歌山県沿岸から反時計回りの暖流流入がある。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の13.8～15.2℃、日和佐地区は「やや低め」～「平年並み」の16.4～17.7℃、牟岐地区は「やや低め」～「平年並み」の16.8～18.3℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

小型定置網：海部沿岸でマイワシが0.9トン(1日1隻当たり81kg)、ウルメイワシが0.4トン(同31kg)、小小主体にマアジが1.2トン(同86kg)、中主体にマルアジが0.3トン(同43kg)、小主体にマサバが0.5トン(同31kg)、さば類が0.7トン(同183kg)水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸でクロマグロが0.8トン(同798kg)、中主体にハマチが1.9トン(同1,888kg)、特大主体にマアジが0.2トン(同217kg)水揚げされた。

釣り：海部沿岸でハマチが0.2トン(同16kg)水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが16.8トン(同184kg)水揚げされた。

漁業種類別集計表(抜粋) 2014年4月28日～2014年5月4日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	マイワシ	11	888	81	
		ウルメイワシ	12	372	31	
		マアジ	14	1,210	86	小小主体
		マルアジ	6	257	43	中主体
		マサバ	15	461	31	小主体
		さば類	4	730	183	
大型定置網	海部沿岸	クロマグロ	1	798	798	
		ハマチ	1	1,888	1,888	中主体
		マアジ	1	217	217	特大主体
釣り	海部沿岸	ハマチ	13	204	16	
パッチ網	紀伊水道	シラス	91	16,750	184	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の4月29日～5月5日には、海部沿岸では、小型定置網でマメ主体にマアジが1.1トン、小主体にマルアジが0.7トン、カタクチイワシが1.1トン、キビナゴが1.4トン、クロマグロが0.3トン、トビウオ類が0.3トン、マルソウダが0.6トン、アオリイカが0.3トン、大型定置網で、特大・大主体にマアジが2.3トン、中主体にマルアジが1.7トン、イワシ類が0.7トン、クロマグロが0.5トン、特大主体にイサキが0.9トン、ブリが4.3トン、メジロが0.9トン、ハマチが1.3トン、中主体にヒラマサが0.2トン、マルソウダが1.7トン、小主体にシイラが3.4トン、釣りで、中主体にカツオが1.4トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖において「やや離岸」から「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」の14℃台、日和佐地先で「やや低め」～「平年並」の17～18℃台で推移する見込み。